

# 平成28年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第4回 5月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)  
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

## ○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年、平年より大幅に多く出現した。

前年	平成27年5月21日	(17点の平均)	32.1	個/m <sup>3</sup>
前回	平成28年5月11日	(17点の平均)	59.7	個/m <sup>3</sup>
今回	平成28年5月23日	(17点の平均)	71.4	個/m <sup>3</sup>
			※5月中下旬の平年値	14.4 個/m <sup>3</sup>

## ○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚が前年、平年より大幅に多く出現した。

前年	平成27年5月21日	(17点の平均)	4.4	尾/m <sup>3</sup>
前回	平成28年5月11日	(17点の平均)	8.7	尾/m <sup>3</sup>
今回	平成28年5月23日	(17点の平均)	13.3	尾/m <sup>3</sup>
			※5月中下旬の平年値	2.2 尾/m <sup>3</sup>

## ○プランクトン調査

放散虫類が多く出現した。

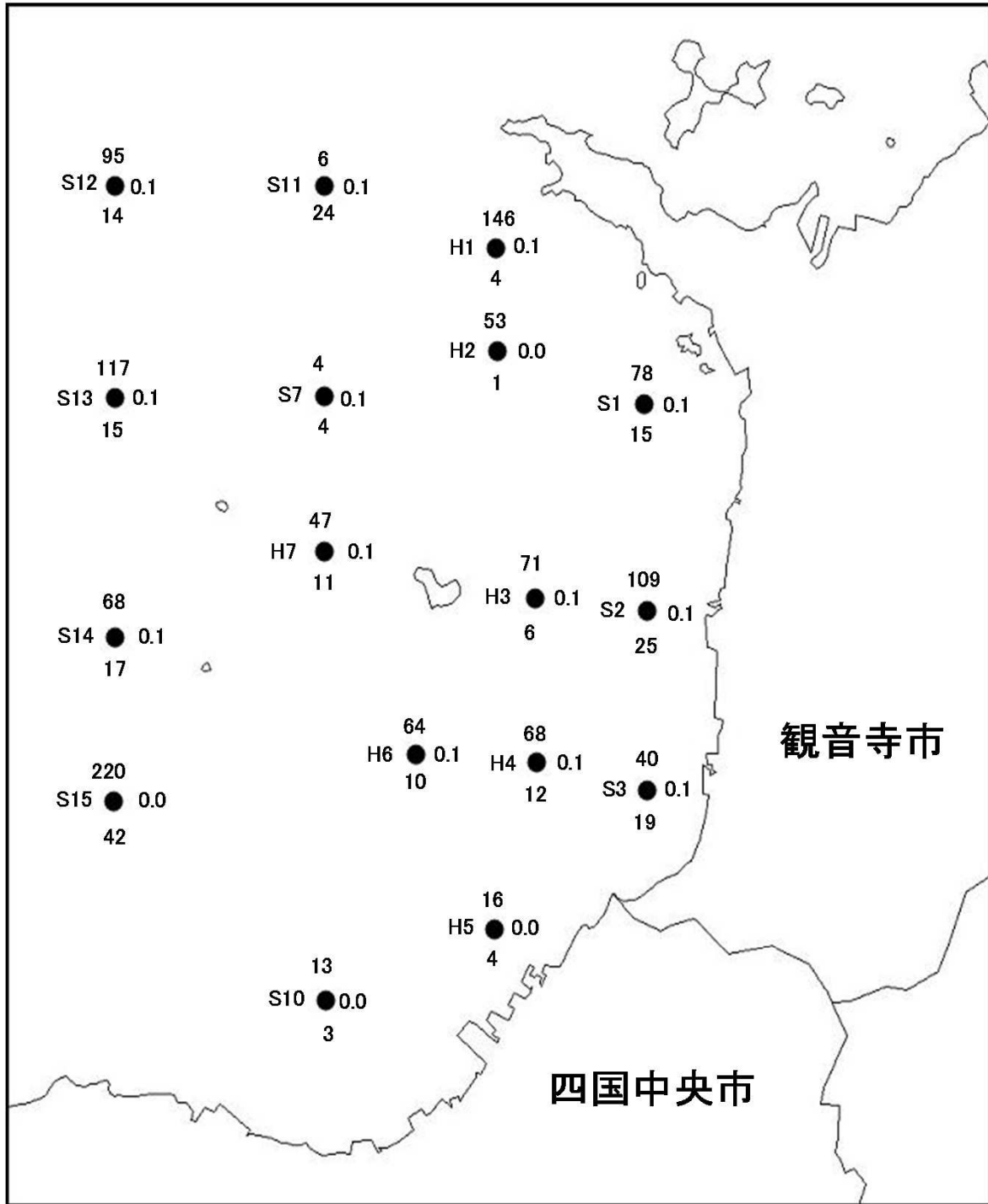
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は平年より少なく、前年と同程度であった。

## ○クラゲ調査

アカクラゲの出現数が、前年より少なかった。

次回の調査は6月1日(水)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2016/5/23)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を  
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、  
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

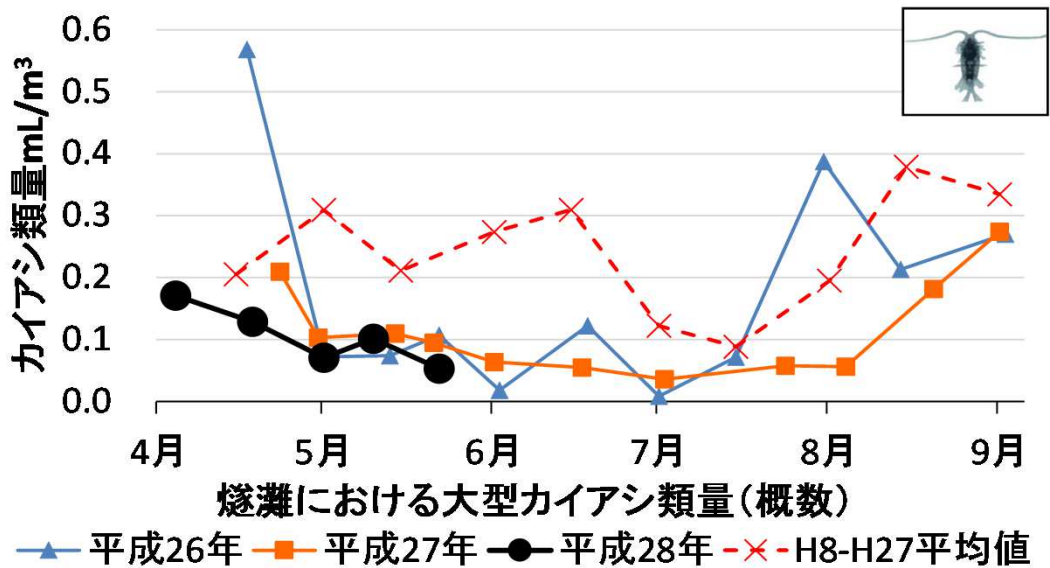
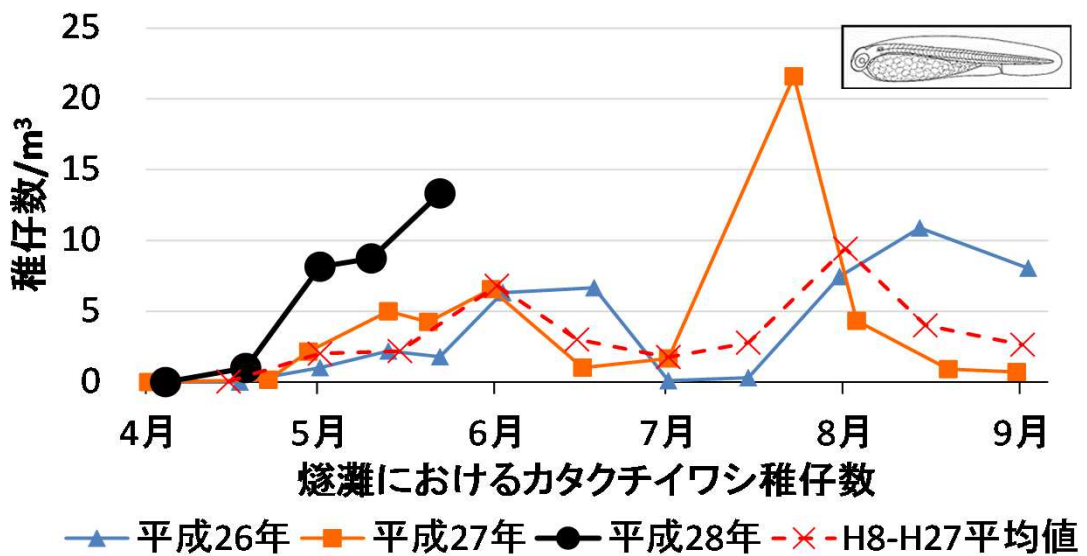
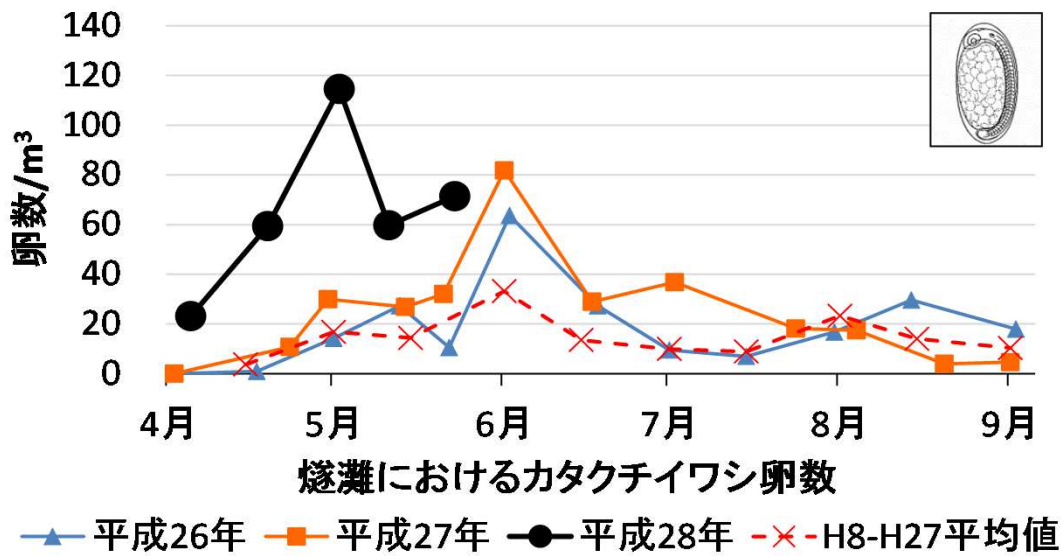
21 ← 卵数  
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量  
5 ← 稚仔数

平成28年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(4回目)

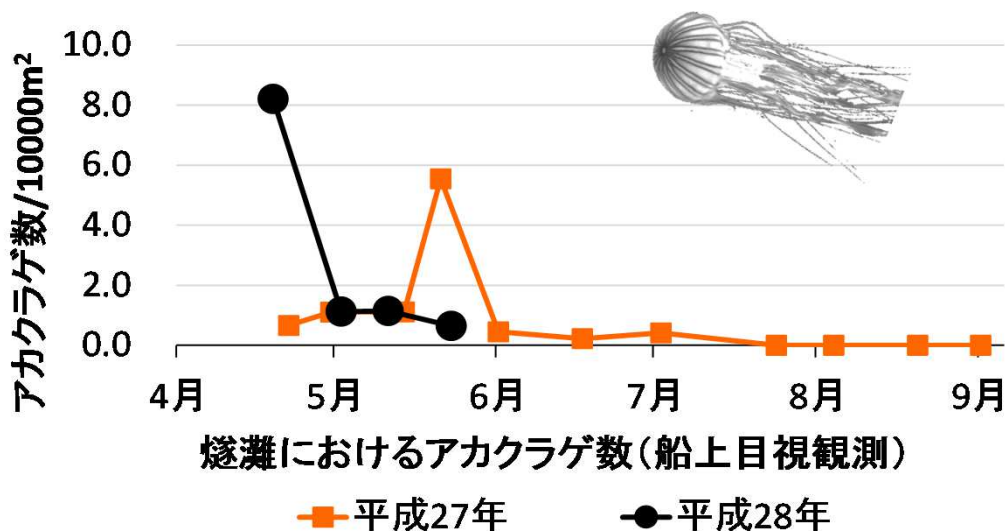
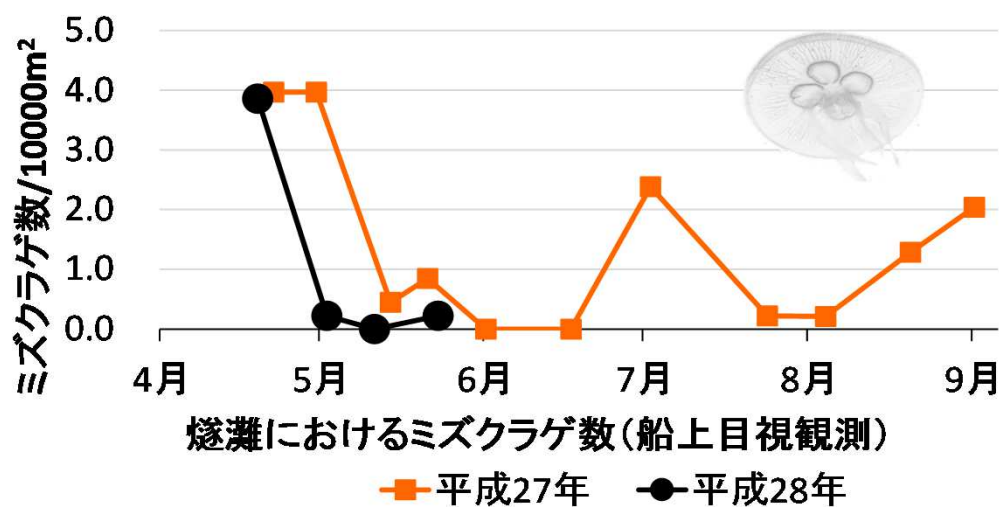
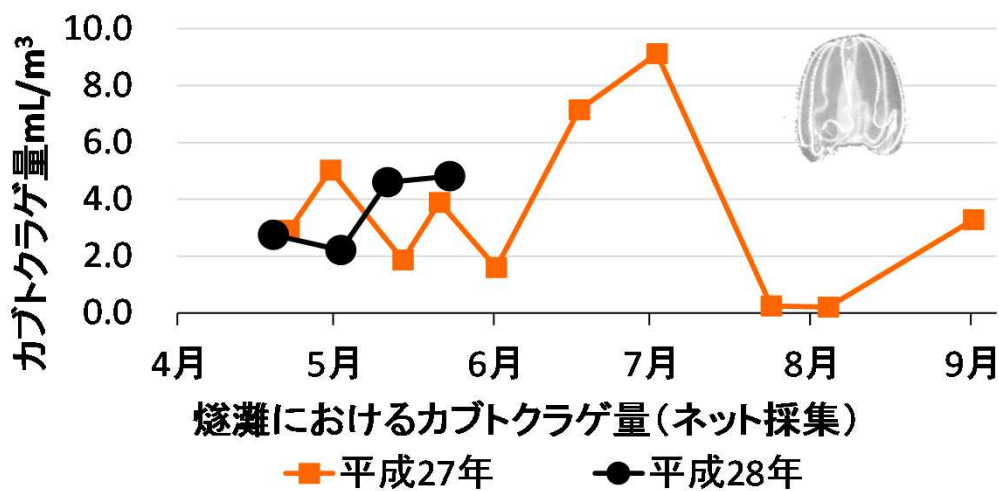
調査日: 2016/5/23

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	22.2	146	0	3	4	0	0
H2	20	22.6	53	0	1	1	0	0
S1	20	21.9	78	0	4	15	0	2
S2	20	22.7	109	0	1	25	0	2
H3	20	22.5	71	0	1	6	0	1
S3	20	23.3	40	0	5	19	0	2
H4	20	22.3	68	0	1	12	0	0
H5	20	21.7	16	0	3	4	0	1
S10	20	21.8	13	0	3	3	0	0
H6	20	21.5	64	0	1	10	0	1
H7	20	21.0	47	0	1	11	0	1
S7	20	20.5	4	0	2	4	0	1
S11	20	20.9	6	0	2	24	0	6
S12	20	20.5	95	0	5	14	0	0
S13	20	20.6	117	0	7	15	0	1
S14	20	20.3	68	0	7	17	0	1
S15	20	20.8	220	0	2	42	0	2
7点平均		22.0	66	0	2	7	0	1
平均		21.6	71	0	3	13	0	1

※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均 ※採集数はm<sup>3</sup>当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。ミズクラゲ、アカクラゲはH1～H7の7点における平均船上目視観測数(船速平均約7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mの範囲で視認できるクラゲの数)。クラゲ発生量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。